

**健診データを用いた非肥満者における非アルコール性脂肪性肝疾患の発症のリスク因子と
非侵襲的肝線維化スコアリングの推移についての縦断的検討**

前回の抄読会では、課題研究のテーマとして、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の疾患概念や疫学について紹介した。そして、非肥満の NAFLD の予後やそれに関わる因子を検討した先行研究について触れ、20 歳からの体重変化や中性脂肪、尿酸値、クレアチニン等が関係していることが示されている事を述べた。さらに、近年注目されている肝線維化マーカーを用いた肝線維化のスコアリングの方法と、それを利用した先行研究を紹介し、健診データ利用の可能性について述べた。

今回の抄読会でも課題研究について NAFLD を扱う。前回内容を踏まえ、先行研究で明らかにされていない臨床課題と、現時点で検討しているクリニカルクエスチョンを明確にし、さらに検討中の解析方法について紹介する。

文献（一部を抜粋）

- (1) Niriella MA, Kasturiratne A, Pathmeswaran A, De Silva ST, Perera KR, Subasinghe, S. K. C. E., et al. Lean non-alcoholic fatty liver disease (lean NAFLD): characteristics, metabolic outcomes and risk factors from a 7-year prospective, community cohort study from Sri Lanka. *Hepatol Int* 2018 Dec 11.
- (2) Nishioji K, Sumida Y, Kamaguchi M, Mochizuki N, Kobayashi M, Nishimura T, et al. Prevalence of and risk factors for non-alcoholic fatty liver disease in a non-obese Japanese population, 2011-2012. *J Gastroenterol* 2015 Jan;50(1):95-108.